

【基本情報】

教科	地理・歴史	学年	3年	教科書	世界史B（実教出版社）
科目	世界史B	単位数 (年間予定コマ数)	4 (128)	副教材	グローバルワイド最新世界史図表 三訂版（第一学習社）最新世界史図説
科目概要	2年次で学習した「世界史B」の内容を踏まえつつ、より大きく幅広い視点で世界の歴史の枠組みと展開を、各時代、各地域の重要な事項を中心に学んでいきます。大学受験に対応できる内容で進めていきます。				
到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することにより、歴史的思考力を養います。また、大学入試センター試験において、少なくとも7割以上得点できる力を身につけ、大学入試にも対応できるようにします。				
授業の進め方	①世界の歴史の基本的事項・事柄を中心としながら、2年次よりも詳しい事項を補足しながら触れていきます。 ②授業は講義形式で行いますが、効率的に進めていくために、毎回ワークシートを中心に進めていきます。板書事項は専用のワークシートに記入するようにしてください。 ③資料を使って調べてもらったり、白地図を使って作業をしてもらうことがあります。また、班活動によるAL（アクティブラーニング）型学習を実施することもあります。ALの活動や教師の発問に対する応答や質問など、積極的に授業に参加すること。 ④地域ごとの“タテの流れ”、時代ごとの“ヨコのつながり”や“地理的な感覚”を意識して授業を行います。また、出来るだけ毎授業毎にセンター試験形式・私大入試型の問題演習を行います。				
留意事項	① ALの活動や教師の発問に対する応答や質問など、積極的に授業に参加すること。 ② 配布される「専用ファイル」にワークシートを保存し、ノート代わりに利用すること。 ワークシートは答えの穴埋めだけに終始せず、全体的に捉えて利用すること ③ 板書に際しては、項目の重要度等に応じて色チョークで色分けをします。 ④ 忘れ物は絶対にしないこと。もし、忘れ物がある場合には、事前に申し出ること。 ⑤ 提出物の期限はしっかり守ること。期限に遅れた場合、減点もしくは0点扱いになる場合があります。 ⑥ 定期考査において、漢字で書けるものについては漢字で書かなければ原則正解にしませんので、普段から意識して学習するようにして下さい。				
家庭学習	効率よく授業を進めるために、課題が出される場合があります。課題をやってこないとALなどの学習活動に支障がきたす場合がありますので、課題がある場合は、必ず行ってきてください。 ＜「世界史B」を利用して大学受験をする人＞ ①必ず「世界史用語集」を書店で購入してください。授業や参考書などで不明な語句が出てきた場合は用語集を使って調べる習慣をつけてください。 ②夏休み前には2年次の「世界史B」で学習した内容を含めて、それまで学習した範囲を教科書・ワークシートを使ってひと通り振り返りながら、確認していくこと。その上でしっかりと基本的事項を定着させ模擬試験に対応できるようにすること。 ③世界史は「暗記がすべて」ではありません。歴史的な流れや前後の関係を理解することで全体が見えてきます。そのためには興味を持って、何事も深く考察ようにし、単なる語句の暗記にとどまらないようにしてください。				
備考	◆学期末・学年末の評定については、上記の4観点を100点法で換算し、総合ポイントの合計で概ね次のように 5段階で出します。 85ポイント以上＝「5」 70ポイント以上＝「4」 45ポイント以上＝「3」 30ポイント以上＝「2」 30ポイント未満＝「1」				

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. 関心・意欲・態度	世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	10%	主にワークシートの作成・提出状況で評価します。 (ワークシートの作成の仕方及び評価の観点は授業の中で説明します。)
B. 思考・判断・表現	世界の歴史を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	5%	「思考・判断・表現」に関わる課題を出します。班ごとに作業し課題を提出してもらいます。 (くわしい評価の観点は授業の中で説明します。)
C. 資料活用能力	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	5%	地図やグラフなどを用いた「資料活用能力」に関わる課題を出します。
D. 知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	80%	原則的に定期考査の中で「知識・理解」に関わる問題を出題します。

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1. 重商主義と啓蒙専制主義 2. ヨーロッパ諸国の海外進出 3. 17～18世紀のヨーロッパの文化と社会	1 2	17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向、重商主義と啓蒙専制主義 ヨーロッパ諸国の植民地争奪、大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組み 17～18世紀のヨーロッパ文化の特色と社会状況		○	○		世界の歴史に関わる基本的事項を理解し、設定されたテーマや課題の解決に向けて、協力しながら取り組むことができる。
第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 1. 産業革命 2. アメリカ独立革命 3. フランス革命とナポレオン	1 5	一年次の世界史Aで履修している項目ですので、復習を行います。					
第11章 欧米における近代国民国家の発展 1. ウィーン体制の成立 2. ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 3. 南北アメリカの発展	1 5	一年次の世界史Aで履修している項目ですので、復習を行います					
第12章 アジア諸地域の動揺 1. オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 2. 南アジア・東南アジアの植民地化 3. 東アジアの激動	1 2	オスマン帝国支配の動揺と改革、アラブ諸民族の覚醒、イラン・アフガニスタンの動向 インドの植民地化と社会の変貌、東南アジア諸国の植民地化の過程 清朝の動揺と近代化改革、東アジア国際秩序の再編					
第13章 帝国主義とアジアの民族運動 1. 帝国主義と列強の展開 2. 世界分割と列強対立 3. アジア諸国の改革と民族運動	1 2	帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化 帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合、従属させられた地域社会の抵抗と変容 欧米諸国の支配下のアジア諸国の改革と民族運動の形成					世界の歴史に関わる基本的事項を理解し、設定されたテーマや課題の解決に向けて、協力しながら取り組むことができる。
第14章 二つの世界大戦 1. 第一次世界大戦とロシア革命 2. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3. アジア・アフリカ地域の民族運動 4. 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5. 第二次世界大戦	2 2			○	○		
第15章 冷戦と第三世界の独立 1. 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 2. 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 3. 第三世界の台頭と米ソの歩み寄り 4. 石油危機と世界経済の再編							
第16章 現在の世界 1. 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 2. 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3. 地域紛争の激化と深刻化する貧困 4. 現代文明の諸特徴							
問題演習・解説	4 0	大学入試センター試験、難関私大入試に向けての問題演習					